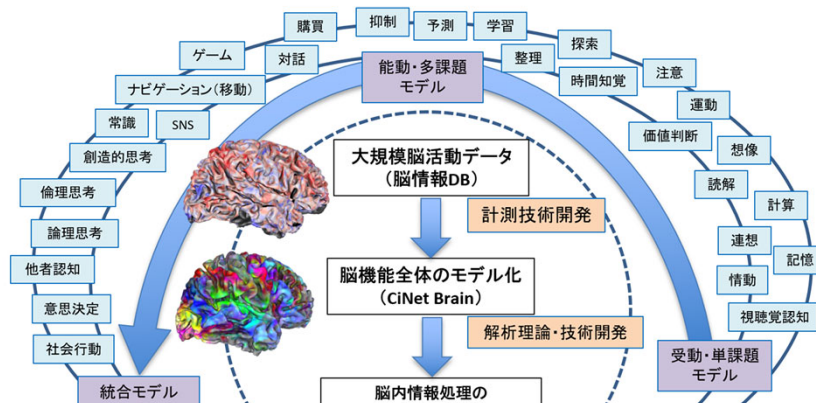


概要

究極のコミュニケーションや人間の潜在能力の発揮を実現する
新しいICTの創出を目指し、脳活動を多角的に計測・モデル化し、
支援する技術などの脳情報通信技術の研究開発を実施しています。



人工脳(全脳のモデル化): 多種多様な入力情報を脳がどのように理解し、感じ、
どのように判断し行動するかを再現できるモデル(人工脳)を構築しています。



社会実装

次世代コミュニケーション 感性・情動評価 ストレス評価 社会行動予測	エキスパート脳評価 暗黙知推定 マーケティング 学習・能力向上支援	匠の技の継承 言語・翻訳 BMI + ロボット技術 ヒトと親和性のあるAI
---	--	--

特徴

- ・世界レベルの脳情報融合研究を実施
- ・多角的な脳機能計測・解析基盤技術
- ・産学官連携による社会実装への橋渡し

ユースケース

- ・脳情報による商品・サービス評価
- ・脳情報によるロボット制御 (BMI)
- ・脳情報による緊張緩和・運動機能支援

今後の展開

- ・脳情報による学習等支援
- ・BMIの低侵襲化、非侵襲化
- ・マルチモーダル脳計測データの共有
によるオープンイノベーション

【お問合せ先】

国立研究開発法人情報通信研究機構未来ICT研究所 脳情報通信融合研究センター

Mail : info@cinet.jp